

目次

I 総括

1 組織概要

- (1) 組織と所掌事務..... 1
- (2) 職員の定数及び現員数..... 1

2 予算概要

- (1) 平成 29 年度歳入決算..... 2
- (2) 平成 29 年度歳出決算..... 2

3 主要財産

- (1) 土地..... 3
- (2) 建物..... 3
- (3) 漁業指導調査船..... 3

II 試験研究業務（平成 29 年度の試験研究結果）

1 水産業の経営高度化・安定化のための研究開発

- (1) ワカメ等海藻養殖の効率化システムの開発..... 4
- (2) 本県主要水産物のマーケティングに関する研究(ホタテガイ、カキ) 9

2 全国トップレベルの安全・安心を確保する技術の開発

- (1) 毒化した二枚貝の麻痺性貝毒減衰時期予測、及びシストの分布、二枚貝養殖漁場の環境評価
 - ① 毒化した二枚貝の毒量減衰式の作成..... 13
 - ② 貝毒プランクトンの動向調査..... 16
 - ③ その他..... 21
- (2) カキの NoV 汚染による食中毒事故の発生リスク低減に関する研究..... 24

3 生産性・市場性の高い増養殖技術の開発

- (1) 秋サケ増殖に関する研究
 - ① 増殖・管理技術の開発・改善..... 27
 - ② 秋サケ回帰予測技術の向上..... 34
- (2) アワビ等の種苗放流に関する研究
 - ① 種苗生産の安定・低コスト化技術の開発..... 40
- (3) 海藻類養殖の生産効率化に関する研究
 - ① 人工種苗生産技術に関する研究..... 44
- (4) 介類養殖の安定生産に関する研究
 - ① ホタテガイ・ホヤ等の安定生産手法の検討..... 53
 - ② マガキの新しい生産技術導入の検討..... 59

4 水産資源の持続的利用のための技術開発

- (1) 海況変動を考慮した漁海況予測技術の開発..... 66
- (2) 地域性漁業資源の総合的な資源管理に関する研究
 - ① 主要底魚類の資源評価..... 76
 - ② 東日本大震災以降の漁船漁業の現状評価と、資源評価結果に基づく資源利用モデルの導入..... 88
- (3) 回遊性漁業資源の利用技術の開発
 - ① 回遊性魚種の資源評価と漁況予測..... 91
 - ② スルメイカの漁況予測..... 91
 - ③ クロマグロ小型魚の漁獲抑制対策..... 91
- (4) 震災による磯根資源への影響を考慮したアワビ・ウニ資源の持続的利用に関する研究..... 104

5	いわてブランドの確立を支援する水産加工技術の開発	
(1)	高次加工を目指した加工技術開発に関する研究	
①	通電加熱技術等による省エネ・省力化型加工製造技術開発及び実証研究	110
(2)	地先水産資源の付加価値向上に関する研究	
①	地域水産資源を用いた加工品試作開発	114
(3)	県産水産物の品質に関する研究	
①	簡易・迅速品質評価技術開発	117
(4)	県水産物の素材特性に関する研究	
①	海藻製品の品質向上および新しい加工品の開発に関する研究	123
6	豊かな漁場環境の維持・保全のための技術開発	
(1)	適正な漁場利用を図るための養殖漁場の底質環境評価	125
(2)	県漁場環境保全方針に定める重点監視水域（大船渡湾・釜石湾）のモニタリング及び広報	
①	漁場環境のモニタリング	129
②	硫酸還元細菌を指標とした底質評価手法の検討	129
(3)	養殖ワカメ安定生産の基礎となるワカメ漁場栄養塩モニタリング及び関係者への広報	135
III	情報・広報業務	
1	口頭発表	137
2	成果報告会	137
3	広報	138
4	新聞・テレビ・ラジオ等報道	140
5	施設利用	142
IV	指導・相談業務	
1	委員、審査員等の派遣	143
2	大学等との交流	144
3	職員派遣	144
4	講習、技術研修会等	150
5	研修受け入れ	152
6	指導、相談	152
7	水産加工開放実験室利用状況	154
V	水産業改良普及指導業務	
1	水産業改良普及事業の推進	155
2	漁業担い手育成対策事業の実施	155
3	普及指導員の研修	156
4	行政機関、漁業協同組合等との連携による普及活動の指導・支援	156
VI	漁業指導用通信業務	
1	沿革	157
2	平成 29 年度通信業務概要	157
3	平成 29 年度 釜石無線局の通信業務取扱実績	159
4	その他	160
	資料	
1	沿革	161
2	職員名簿	162
3	表彰	163